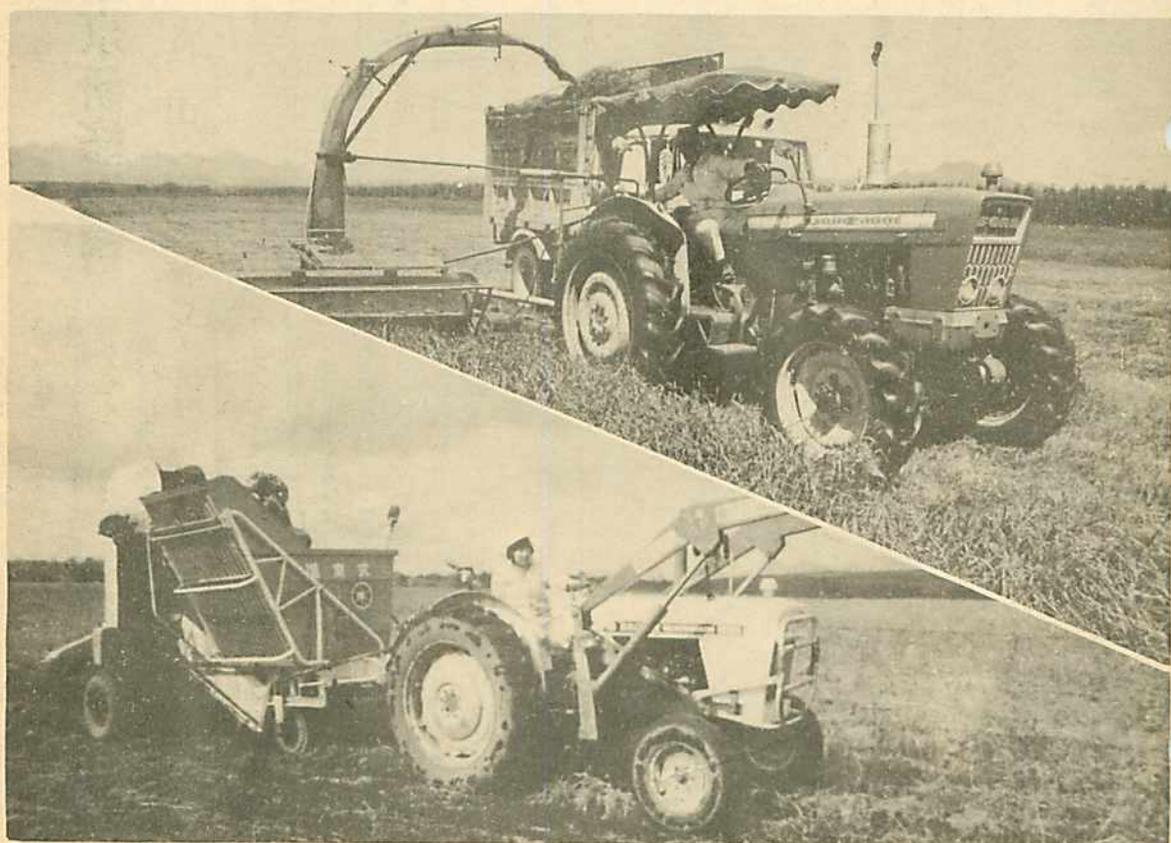


(1) 組合だより

# 組合だより

発行所 中標津農業協同組合  
発行 昭和49年10月10日 臨時号 ・印刷 アート印刷株式会社



収穫のよろこび

昭和六、七年は冷害であった  
太陽は今年と同じくらいしか  
照らなかった

豆もかぼちゃもくえなかった

今年も秋がきた

くさい馬鈴薯もとれた

牛乳も搾れた

冷害に負けない農民が多勢

頑張っている

秋にはよろこびがある

自然との闘いそれにうちかっ

た収穫のよろこびがある

機械のたかなり 土のとよめき

来年も秋はくる

(入倉)

# 「肉用牛はマンパイ」 群馬・長野・東京研修視察

代表監事 青山 喜代春

去る八月三十一日から九月七日

までの八日間、役員六名職員一名が関東班として、東京、群馬、長野の各経済連、酪連、車協、生産者を視察してきました。

その目的は

一、乳用牛及び肉用飼育牛の消流

対策及び飼育頭数の現況。

二、販売及び購買の実態及び価格

対策調査。

三、現況に於ける生産者及び今後

の畜産に対する意識。

四、飼料調査及び消流、等について

を限られた時間で精力的に研修視察をして参りました。

一 農家の減少と保有頭数

昭和四十七年度の農業白書が公表した、農基法農政の失敗を告白した通り、我が国の経済高度成長は国土利用の偏在化を一段と深め、選択的政策によって畜産は成長したが土地利用と結びつかない、施設型酪農に発展し、この事は畜産公害に苦しむ結果になっている事は、関東酪農を眼で見て本当に苦勞している姿には頭の下がる思

ている和牛に切り替え、あるいはキメスを重点にしていこう方針との事。しかし和牛素牛も頭数に限界があるため、ホル社も飼育はするが県内生産牛を優先し、現在道産移入は計画していないとの事です。キメスについては今後牛舎の空き次第に移入するとの事で、ただ価格の推移をみる模様である。

いでは、本年の飲用乳及び原料乳価格は上がったが、今までの低乳価及び肉価格の下落等の影響は特に小規模農家の脱酪農を一段と早め、他の作物生産に転換し昭和四十七年と四十八年対比で七%の戸数減少で、本年度は更に増加しているとの事です。

肉用牛は群馬、長野ではホル社が昨年より本年は大きく頭数の減少で、通常三〇〇K―三五〇Kで販売していたのを、現在価格の低迷により五〇〇K―五五〇Kまで飼育し、できるだけ附加価値をつけて販売して一頭当り十五万円から二十万円の欠損との事、系統では営業指導として現在の保有牛は欠損でも早く販売し素牛の更新をするよう呼びかけているが中々その移行が思うようにいかず、その対策に努力中でこの牛舎もマンパイの状況です。

今後ホル社には飼料価格の上昇を考える時メリットが少ないため、営業指導として目場価格の安定し

別々全農・ホクレンのシステムで行われ、車協職員が直接買入れのため、短日程のため、要望する乳牛の規格、頭数及び価格等が整っていないければならず、個体販売に關しては、組合員各位の認識と努力が更に充実しなければならぬと思ひます。十勝、旭川、北見天北地方はこれらの条件を充たしているのか、本年度は重点的に導入されている事を両県の生産者が話しており、個体と消流も容易な考えでは中々むずかしいと思ひます。

肉用牛については肉価格の下落と共に金融引き締めめの二重パンチにより、例年なら飼養頭数の三割は更新するのが、時期を延長して搾乳をしており従って一頭当りの搾乳量が昨年より十四Kも低下しており、更に飼料の値上げが目前にあり、生産者は一日も早く更新導入をしたいのが本音であります。資金調達の見通しができ次第十月以降の導入計画をしており、長野県では現在まで三〇〇頭の導入を完了しており、引続き同数の移入を考えているようです。しかし、金融関係でどの程度になるのか見通しは困難と思われまます。

買入れはクローラステーション

両県の生産者の牛舎を予告なしに訪ずれるのですが、現在全戸パルク・ユニットクローラーで乳質の管理をし、四〇〇万規制が完全に守られ、生産者段階では一〇〇万以下、製造工場入口段階では四〇〇万以下となっております。

前述のように金融事情及び肉価格が好転すれば、今後本州に於ては導入が活発化する事は当然であり、肉資源の減少等を考え合せ時今少しの期間を「ジョーッとガマンの子」であり、その態勢をつくる事が何よりも肝要であると思ひます。

以後は

以上要点のみ書きましたが、皆様の期待に沿い得る成果はなく、本当に申し訳ない心から残念に思ひます。

流動する酪農情勢下に於ては従来のような消流感覚では、本州酪農に対しての経済効果を得る事が困難であり、時代認識を一層深め本州酪農の動向をしっかりと把握して、乳用牛、肉用牛を問わずその対策を根本的に建て直すべきと思ひます。

私達も明年実施される乳質規制に尚一層の努力をしなければならぬと思ひます。関東地方で実現しているのですから、根室で実現できない事はないので、要は指導機関の充実と共に生産者各位の意識と認識、実行と努力にあると思ひます。

# 「肉畜素牛供給も個体改良を」 関西班は和歌山・鳥取 岡山・大阪を視察

管理・経済委員長 遠藤幸吉

関西班は役員四名、職員一名で和歌山県経済連、鳥取県経済連、津山市内ホクラク農協、雪印津山工場、ホクレン大阪支店、大阪畜肉卸売市場、ダイエー大阪店食肉、小売部の順で視察してきました。――畜産の動向とその現況――

資料は古いが和歌山県の農畜産物の動向をみますと、昭和四十年粗生産額総計では三百三十二億円昭和四十五年では五百十八億円と約五十七%の伸びである。県経済



粉河町農協肉農家肉牛団地

られました。それでも今後は、肉牛飼育頭数は減少させず、希望をもって指導していく方針との事です。粉河町農協の肉牛団地は全頭がホルト牛でした。

連の説明では果樹、畜産、そさいは本県の成長作目であるといい、畜産については四十年と、四十九年頭羽数比、ブロイラーの九・五倍を筆頭に、豚が一・六倍の伸びで、乳牛は五千頭が三千頭に六十六%に減少で、肉畜は更に悪く一万一千頭が四千頭である。全農大阪支所の調査では、牛肉枝中規格品を生産しても十二万円から十六万円の赤字、並規格品で十七万五千円から二十一万円一頭当りの赤字になる。この原因には昨年の素牛価格が最高値で仕入れられていること等が考えられるが、また家畜の糞尿による公害のため、平地は人家が密集し飼育用地がなく、案内された粉河町農協の肉牛団地等は標高六百七十メートルで斜度も三十度から四十度もあり車はローギヤで走り頂上近くでは徒歩でなければ行けず、このような立地条件のところでは営農をしていける本州の人達の根の良さを見せ

―ホルト素牛の供給は―  
現在は配合飼料給与をへらしつつ、市場価格が上がるのを待ち、補充は少頭数のため地場物で間に合せているとの事です。

今までは道北産牛を年間一千頭程をホクレンを経て導入されていたが、最近道東産牛が、足腰の良さと大きさの点で見直され人気があるとの事ですが、只残念な事に根拠の牛が意外に知られていなかった。今後のP・Rの必要を感じました。

九月四日の大阪食肉市場の相場は、ホル六百七・八十円から七百二、三十円、和牛で一千一百円から二百円、最高物で一千三百円の取引価格でした。しかし、大阪のダイエースーパー食肉小売部では小間切れが一〇〇グラムで百六十円から百八十円、並肉二百二十円から二百六十円、上肉三百五十円から四百六十円で売られています。和牛、ホルの区別はなく、全てがサシの具合により価格が違っています。輸入物は表示がされています。

## 乳用雄肥育試算

(北海道産素牛導入に対する1頭当り)

＜和歌山県経済連畜産部＞

	計	素牛価格(産地)			
		250円	300円	350円	400円
素牛費	導入体重250kg	62,500円	75,000円	87,500円	100,000円
導入諸経費	1車28頭、運費24万円、輸送保険 対万 215円、系統手数料 各1万(計2万)	11,193	11,712	12,231	12,750
飼料費	(着目減り10%, DG 1kg、仕上600kg、375日飼育)	175,400	175,400	175,400	175,400
	配合飼料 2,300kg×60円、庄ペン費 700kg×47円、稲ワラ 300kg×15円				
労賃	1日 1頭当り 100円×375日	37,500	37,500	37,500	37,500
償却費	畜舎耐用10年、1頭当り3,888円、機械器具5年、1頭当り5,400円	9,288	9,288	9,288	9,288
衛生費	DS-6、ハイコロ、去勢料、消毒剤、他	3,700	3,700	3,700	3,700
その他経費	敷料、小農具、修繕費、他	2,929	2,929	2,929	2,929
金利	牛 日歩2.2銭×375日 飼料 年8分× $\frac{375}{365} \times \frac{1}{3}$	10,756	11,827	12,927	14,001
共済掛金	保障額10万円×掛金率3.5%	3,500	3,500	3,500	3,500
事故引当金	{素牛代(経費含) + 飼料費× $\frac{1}{2}$ } × 3%	4,774	5,164	5,622	6,013
費用計		321,540	336,020	350,597	365,081
枝肉1kg	仕上体重600kg、枝歩含58%、枝重量348kg	924	966	1,007	1,049
当り	(ゴミ皮代は運費(3,000円)と屠場費(1,500円)、販売手数料(3%約10,000円)に充当)				

鳥取県では肉牛価格安定事業を県予算が二千五百六十四万八千円、県経済連が一千二百八十二万四千円、全市町村で一千二百八十二万四千円の合計五千一百二十九万六千円の事業費を出し、枝肉等級並以上キログラム当り九百三十円にならない場合は交付金を交付し、飼育農家の安定を画ることを目的にしている。視察当日会議のため畜産部長に会えなかつたが、畜肉飼育農家に対する、県、県経済連、市町村の力の入れ方を伺うことができた。販売額からみて一%程度の肉畜にこのも力を入れてる行政、そして連合会のありかたは大変参考になりました。

肉畜牛関係の最後に和歌山県の経済連で試算した表を別記しましたが新聞相場等と比較し、素牛価格の参考になればと思います。次に岡山県津山市にある、ホクラク農協であります、二市六郡二町で岡山県の約%に当る面積を有し、酪農家戸数千四百七戸、乳牛頭数一万八千五百六頭(内ホル種一万五千五百二十二頭、外ジャージ種)を有する純酪農地帯で、本州では数少ないところと思えます。農家戸数の減少は和歌山県、鳥取県と同様に五年前に比べ、六十七%に減りましたが、乳牛頭数は昭和四十五年比百十六%、内訳でも

十五頭、二十九頭飼育戸数十七、五%、三十頭以上飼育戸数七%の増を示し、全く意欲的であるのが感じとれました。飲用乳価九十八円がそうさせているのかもしれない。雪印津山工場長の話しでは、年間所得五百万円以上の農家が増え、都会に出ていた後継者も遂次帰県しているとの事。

ホクラク農協管内では年間五百頭程の初妊牛を道北と四国から導入していたが、仔牛の頃は大変に品が良いが成牛になって五百五十キロ前後しかならず、足の弱い牛が多いので最近になって道東特に十勝、根室産の牛の良さが解り、「道東産ですと六百キロ以上になり足腰の丈夫さは他地区産にはみられません」と康広参事が話していました。只購入する時に日数と経費が多くなかり、できることから電話連絡で希望する牛と頭数を揃えて輸送してくれるようになってほしいと希望していた。

今後当農協でも集荷体制を含めて検討する課題の一つであります。

今年の荷動きについて伺うと、やはり肉価の低迷が影響しているようでした。

以上簡単な報告になりましたが酪農を主体とする経営の副産物と

されている仔牛をより有利に販売するには、信用が第一であり、そのためには個体の改良が必要と痛感しました。

さらに、肉畜素牛生産者は早急に

## 乳価再改定の要求運動

### 根室地区酪対協役員会 %10

「乳価再改定要求運動を速やかにせよ」と根室地区酪対協総会でも決議がなされていた要求運動は、その後、道酪対本部、道農協中央会に要望を続けた結果、道農協酪対本部、役員会で決議された。

この要求運動は「道内生産者の結束と統一を推め、同時に全国農協中央会を中心に全国的な強力な運動とする」とし、十月中に目途をおき推進する。

根室地区酪対役員会でこれらの経過報告の後、協議がされ、

一 四十九年要求価格八十八円四十三銭を基礎に改定要求額をだし運動をすすめる。

二 根室管内酪農民大会を開催し運動を盛り上げて、全道、全国大会につないでいくべきだ、等の意見があり、一については確認され、二については地区酪対三役会議

飼育技術をマスターされ、素牛供給のみならず、根室牛として市場に出荷されることを望みながら、報告とします。

安定の総合対策を樹立し、価格変動等により畜産農家が負担することが絶対ないよう要請致したい。

記

一、輸入飼料原料の価格(配合飼料の価格)変動が直接畜産農家負担になることが絶対ないよう基金制度を拡充強化すること。

二、とうもろこし、マイロ等の量的確保の外交措置ならびに飼料勘定における飼料用大小麦粒の大幅拡充すること。

三、配合飼料価格安定のため飼料備蓄を拡充強化すること。

四、飼料用麦、飼料作物の緊急増産ならびに未利用資源活用運動の推進と生産奨励、流通促進の特別助成措置をすること。

★★★  
**乳価再改定要求**  
**年内実現めざす**  
 道酪対本部

二日、道内地区酪対長会議を開き、四十九年度加工原料乳保証価格の再改定要求運動の進め方などについて協議した結果、再改定要求価格の算定を急ぎ、十月下旬に正式決定したうえ、年内実現を目指すして強力な運動を展開する。

(5) 組合だより

乳質改善  
巡回指導の結果

9月20日

根室管内乳質  
改善協議会と  
農協が行う。

協議会から十五名、農協役員十一名、職員十名の三十六名で十五班を編成して百六十九戸を巡回した。

各班から指摘事項等の報告があった。

(1) 乳質改善の意識が低い階層があるが、この向上を徹底してやらなければならない。

(2) ミルカーの取扱いと分解掃除等の理解がなされていないので、その家の取扱者を対象に講習会を地域毎にもつべきだ。

(3) 洗剤の使用法も併せて指導したい。

(4) 指導体制を強化して、不良乳質の追跡調査を行うべきだ。

(5) 指導期間は終りに近づいているので今後は、不合格乳生産者に反則金制度等を検討してよいのではないか。

そのほか、注意事項は別記の通り

です。十分留意され、よい牛乳を生産して下さい。

乳質改善集中指導

名称	畜舎			処理室			冷却			ミルカー洗浄																							
	牛舎衛生状態			処理室			冷却施設			ティナー洗浄				クロール洗浄				ミルクチューブ洗浄				ベールの洗浄				ティナー交換				ミルクチューブ交換			
	良	やや不良	不良	有	無	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	
個営農家	54	22	7	57	26	49	25	9	59	23	1	63	12	8	50	24	9	54	18	11	59	20	4	65	8	10	67	12	4				
%	65.1	26.5	8.4	68.7	31.3	59.0	30.1	10.9	71.1	27.7	1.2	75.9	14.4	9.7	60.2	28.9	10.9	65.0	21.7	13.2	71.1	24.1	4.8	78.3	9.6	12.1	80.7	14.4	4.9				
バルク農家	57	21	8	83	3	64	20	2	71	14	1	65	16	5	58	22	6	68	15	3	76	7	3	67	13	6	76	9	1				
%	66.2	24.4	9.3	96.5	3.5	74.4	23.2	2.4	82.5	16.3	1.2	76.5	18.6	4.9	67.4	25.6	7.0	79.0	17.4	3.6	88.4	8.1	3.5	77.7	15.1	7.0	88.4	10.5	1.1				
計	111	43	15	140	29	113	45	11	130	37	2	128	28	13	108	46	15	124	33	14	135	27	7	132	21	16	143	21	5				
%	65.7	25.4	8.9	82.8	17.2	66.9	26.6	6.5	76.9	21.9	1.2	75.7	16.6	7.7	63.9	27.2	8.9	73.4	19.5	7.1	79.9	16.0	4.1	78.1	12.4	9.5	84.6	12.4	3.0				

昭和49年  
受入個所別合乳合格率

	部品交換			洗剤及びブラシ										
	シュートバルブ交換			2連エアチューブ交換			アルカリ洗		酸性洗剤		殺菌剤		洗浄ブラシ	
	良	やや不良	不良	良	やや不良	不良	有	無	有	無	有	無	有	無
個営農家	73	9	1	75	6	2	81	2	77	6	80	3	78	5
%	87.9	10.8	1.3	90.4	7.2	2.4	97.6	2.4	92.8	7.2	96.4	3.6	93.9	7.1
バルク農家	81	5	-	73	10	3	85	1	79	7	84	2	84	2
%	94.2	5.8	-	84.9	11.6	3.5	98.8	1.2	91.9	8.1	97.7	2.3	97.7	2.3
計	154	14	1	148	16	5	166	3	156	13	164	5	162	7
%	91.1	8.3	0.6	87.6	9.5	2.9	98.2	1.8	92.3	7.7	97.0	3.0	95.9	4.1

受入個所名	4月	5月	6月	7月	8月	
雪	中標津	92.0	90.1	84.9	49.1	40.7
	中春別	88.3	66.7	0	-	-
	計根別	79.3	49.2	97.8	81.3	82.1
	上春別	100.0	87.5	76.9	100.0	83.3
	虹別	100.0	88.9	93.3	64.3	38.5
	厚床	100.0	87.7	100.0	100.0	88.8
	別海	100.0	83.9	100.0	100.0	91.5
印	中西別	100.0	100.0	100.0	94.1	74.3
	上風連	58.3	75.0	100.0	88.0	77.4
	根室	100.0	100.0	92.1	92.4	50.0
明	上風連	100.0	70.0	64.3	100.0	0
	中標津	71.4	100.0	86.2	68.0	74.5
	上春別	100.0	100.0	64.5	38.7	100.0
	中西別	61.5	80.0	85.2	50.0	83.3
	北光	100.0	66.7	100.0	33.3	33.3
治	虹別	66.7	100.0	87.5	66.7	100.0
	西別	69.0	100.0	100.0	34.1	67.4
	西春別	87.5	100.0	95.2	45.1	57.3
系	中標津	81.0	86.3	74.4	74.0	60.8
	根室	20.0	13.7	37.3	57.7	45.8
	厚床	100.0	77.6	100.0	88.7	90.7
	厚床	100.0	83.7	100.0	100.0	84.8
バルククラ	中標津	73.8	96.1	97.1	93.2	93.1
	中標津	100.0	86.3	94.6	93.6	93.8
	西春別	87.5	100.0	93.0	100.0	81.4
	上春別	93.3	88.6	82.2	91.1	93.0
	中春別	-	100.0	100.0	87.4	92.6
計根別	100.0	100.0	88.4	94.4	97.1	
合計	88.0	85.9	91.0	79.5	76.1	

# 「一日貯金」の日近づく!

来る十月十七日は、「貯蓄の日」です。毎年この日は、全国的に貯蓄運動を行っています。貯蓄の必要なことは今更申し上げるまでもなく、不時の出費のためや色々の目的のために貯金をして、将来不安のない快適な毎日を過ごしたいものです。

皆さんの農協でも、毎年この日は「一日貯金日」として、職員が皆さんのお宅に伺いまして、貯金をしていただいておりますが、

年を追うごとに理解も深まり、大変良い成果があがっております。今年も昨年と同じように、近日中に貯金袋を皆さんのお宅へお送りしまして、「十月十七日から十九日までの三日間」の間に、職員が皆さんのお宅にお伺いをしますので、多少にかかわらずよろしく

お願いを致します。高例年通り抽籤により当籤者には、粗品を差し上げます。

お願いを致します。



昨年と比較してみると花だんの出来ばえが総体的にレベルアップされており、努力と苦勞の後がうかがわれた。

来年から、審査内容を明示し参加しやすく、地域ぐるみを対象とした点も考えられる。

なお伊橋高台地域が道新生活運動協会主催のコンクールに参加する。

優秀賞 二十一戸  
丹羽タカ、長野キミ、坂口マサ、久保とみ子、星サダヨ、松田ヒロ子、三宅久子、安達いその、丸田ヤス、阿部久忠、荒政子、板橋文代、服部つる子、遠藤里子、新井政子、斎藤キミヨ、米栖多美子、滝ヶ平静子(中標津)  
坂地弘美(計根別) 小野オトメ(標津) 井口波江

北根室地区農業改良普及所管内を対象に、農村花壇コンクールの申込みをうけ、八月二十八日から三日間、百二十三戸を審査した。

## 長期共済新規契約者を 遊覧飛行に招待



乗る組合員

本組合本年度長期共済推進は組合員各位のご理解とご協力により、加入目標額八億四千万円に対し、九億二千万円の実績をあげることができました。

あらためて深く感謝を申しあげます。

長期共済事業の推進にあたり今年度は奨励行事として、九月七日(於

て中標津町体育館)森進一歌謡ショーに六百名を招待、更に去る三日わが郷土と野付半島を空からの遊覧飛行に一八八名を招待し大変よろこばれました。

来年も新しい奨励行事をかかげ、推進いたしますので、ご期待下さい。

中標津農協保有高は、

保障共済金額

三十二億五千八百八十万円

正組合員一戸当り

共済金額 七百五十八万円

### 乳牛衛生管理の徹底

① 晩秋に向けて冷雨や降霜時の放牧は体力の消耗を来し、疾病とくに感冒、肺炎、下痢や急性鼓張症などを誘発し、事故の発生、栄養の低下と乳量の秋落ちに追い打ちをかけることとなるので、天候に留意しながら制限放牧を励行すること。

② 終牧前に全牛の自家検診を行って異常牛を早期に発見し、空胎牛の診断と早期受胎をはかる

③ 晴天日を選び、畜舎内外の清掃と消毒を励行し、保温、換気などの衛生環境整備の点検、整備をはかるとともに、パドックの補修を終えておくこと。

④ 晩秋に向けて冷雨や降霜時の放牧は体力の消耗を来し、疾病とくに感冒、肺炎、下痢や急性鼓張症などを誘発し、事故の発生、栄養の低下と乳量の秋落ちに追い打ちをかけることとなるので、天候に留意しながら制限放牧を励行すること。

⑤ 終牧前に全牛の自家検診を行って異常牛を早期に発見し、空胎牛の診断と早期受胎をはかる

⑥ 晴天日を選び、畜舎内外の清掃と消毒を励行し、保温、換気などの衛生環境整備の点検、整備をはかるとともに、パドックの補修を終えておくこと。

⑦ 妊、肝、蹄病や皮膚真菌症

根別) 岩倉信子(標津) 佐藤マス(計根別) 安江朝子

など、伝染性疾患は早急に治療するとともに、健康牛への伝染を防いで安全な舎飼いに移行させること。

⑧ 公共草地等から里帰りする育成牛などについても同様な処置を講じ、飼料、畜舎施設についてもあらかじめ受け入れ態勢を整えること。

⑨ 晴天日を選び、畜舎内外の清掃と消毒を励行し、保温、換気などの衛生環境整備の点検、整備をはかるとともに、パドックの補修を終えておくこと。

⑩ 妊、肝、蹄病や皮膚真菌症

⑪ 晴天日を選び、畜舎内外の清掃と消毒を励行し、保温、換気などの衛生環境整備の点検、整備をはかるとともに、パドックの補修を終えておくこと。

⑫ 妊、肝、蹄病や皮膚真菌症

# 地元産の馬鈴薯

## 即売は好評

農協青年部畑作部会の部員が企画し、九月十四日の一日だけを部員総出で農協ストアの前で即売を行った。

時期的には少し早いが地元産の馬鈴薯が食用としても「美味」であること、P・Rと消費者と生産者

のつながりを目的とした。各部員が二俵づつ持ちより、五キロの袋づめにしたりしたが、たちまち売り切れ、畑に二度も堀りとりに行くほどであった。

ふだんはトラクターのハンドルを握る手で、売上金の釣り銭を渡し、配達を断りきれず



即売は予約者が多勢

来年度の計画については、市街地に馬鈴薯をもってくるのではなく、消費者が畑にきてもらい堀りとりをせる方法などが検討された。

## 生産乳量の秋落ち防止

- ① これから放牧地の草量が急速に低下するので、採草地の転用や青刈りデントコーン、根菜莖葉などの補給により採食量を確保すること。
- ② この場合、補給飼料の給与は徐々に増量し、急激な切り換えによる消化器の機能障害を防止し、栄養と乳量の維持にとめること。
- ③ 濃厚飼料の値上がりから配合飼料の給与量を手控える傾向

## 全農が配合飼料値上げ見送り

9/27 理事会で決定

全農（全国農業協同組合連合会、真崎会長）は理事会で、十月から予定していた配合飼料の値上げを見合わせ、九月価格のまま据置くことを決めた。

農業資材費や生活物資の相次ぐ値上げで、畜産危機が心配される中で全農の飼料価格据置き決定は酪農、畜産農家にとって朗報であるが、

- ④ 飼料の利用効率向上及び乳牛の健康維持のため、カルシウム、リン、塩等の無機物の給与に適正を期すこと。
- もあるが、本年の気象経過に伴い、牧草などの一部低品質なものも生じているので、個体の期待乳量や基礎飼料の品質を十分考慮し、飼料計算による適正な給与を行い、乳量の秋落ちを防止して冬季産乳量の向上に備えること。とくに飼養標準に満たない節減は、産乳量の減少による経済的な損失をもたらす、栄養障害の発生原因ともなり得るので留意すること。

## 飼料の貯蔵管理

過日の農協酪対役員会でも、配合飼料の値上げ分は、乳価改定要求が決定しなければ、値上げ分は支払い延期する、と決議されており、これらの農民の声が全農に行き着いたが、反面、乳価再改定要求、十月攻勢の出足をにぶらせる原因にならなければよいが、と懸念される。

素直にうけとめて世界の飼料情勢やドル取引等の経済面から考えて、飼料値上げを見送った全農の対応は生産者サイドと思ってしまうだろう。

ア、乾草の野積みは少なくなったとはいえ、まだ一部に見受けられるが、〇・五トン以下の乾草を野積みすると、表面の変質及び損失割合が多くなるので、一定の施設または場所に大堆積収納、貯蔵すること。この場合、とくに底部及び上部の変質を未然に防止する措置を講ずること。

イ、サイレージ類についても、上部の変質をできる限り少なくするために、密封、加重を行うこと。とくにスタック方式で調整した場合は、常に観察をよく行い、調整後は外気を完全に遮断し貯蔵すること。

ウ、サイレージの取り出し後は、その都度ビニール等で表面を覆い、発力ビヤ再発酵を未然に防止すること。なお、取り出し開始後は表面を平均に取り出し、この作業を連続すること。

エ、飼料用根菜類の貯蔵に当たっては、根部をよく乾燥し、換気に注意し、凍らない程度の低温の場所に貯蔵すること。

# 中標津地区労が

## 労働奉仕



農作業に懸命の地区労の人

参加組織二十部で千八十九名の地区労が昨年から行っている、労働提携活動として、今年も、いも耕作地域に労働奉仕をしている。昨年は牧草時期に俣落地区を重点に約百名が労働奉仕を行い、その結果が良かったことから今年度も事業推進を行なっている。

平日に参加している人達は職場の休暇をとり、弁当持参で八時に地区労事務所が集まり、五時迄奉仕している。作業中の感想をきくと、「畑での収穫作業をしていると時間のたつのがとても早く感じる。なれない仕事なので能率はあげられない点もあるが、農家の人によるこぼれながら一緒に仕事ができるので疲れはあまり感じない」

地区労執行部でも「好評をうけて事業推進が行なわれているので今後も継続をはかりたい。また産地直売ということで地区労組合員や釧路根室管内への農産物の斡旋も行いたい」と語っている。

### “AF2添加製品 (ハム・ソーセージ類) の今後の取扱い”

AF2は、豆腐、ハム、ソーセージ、ちくわなどの練製品の防腐剤殺菌剤として昭和四〇年七月から使用を認められましたが、最近AF2の毒性が肝臓障害の原因になるとみられる、使用中止、販売中止となりました。

現在、AF2に代る適当な防腐剤がありません。無添加豆腐などは痛みが早いので今日中に召上る分のみお買上下さい。

ハム、ソーセージ類で合成殺菌料使用と表示の商品はお買い求めにならないようにして、製品名、添加物名、製造月日、製造工場名等を印刷した、ステッカーを貼り着色、バンドで月日をより分かり易くしてお買求めますので商品をよくみてお買い求めするようにして下さい。

日本水の製品は四五日、③大洋は六〇日、東洋水産(マルちゃん)は三〇日と、AF2を添加しない商品の使用期限がありますので、店舗に商品が到着した時には製造からすでに一〇日以上を経過していると言うことも生じます。消費者の手に渡る場合使用期間を一〇日位は残さなければなりませんから取扱いには充分配慮し販売致しますのでお買い求めの場合、大量のストックを避けるようお願い致します。(Aコープ中標津店)

### 暮しのアイデア

#### ★新鮮な卵の見分け方



新鮮な卵は殻がサラサラしています。光線に透かしてみれば、明み透きとおって見えます。食塩水(水カップ一杯に100グラム)に入れて、浮くものは古い卵で沈むものは新鮮です。

#### キャベツの保存法



外側から少量だけはすいて使いたまいます。一度は洗ってしろうと痛みが早くたります。ダイコン、ニンジン、カブ等も同じです。